

平成24年度 市民意識調査結果

平成24年9月

能代市企画部地域情報課

調査の目的

幅広い年齢層の方を対象に、生活環境や市の施策などについてどのように感じ、またどのように考えているかを把握し、市がこれまで実施してきた施策・事業の検証を行うとともに、その効果や改善策、新たな取り組みなどを検討する際の参考にする。

調査概要

調査対象：市内に在住する満18歳以上の男女2,000人

抽出方法：住民基本台帳から年代別に等間隔、無作為抽出方法

調査方法：郵送による回答方式

調査期間：平成24年6月22日（金）～7月9日（月）

回収率：43.5%（869人）

調査項目

1. 日ごろ感じていることについて
 - ・身近な暮らしについて
 - ・バスケの街について
 - ・行政について
 - ・市の特色について
 - ・地域社会について
2. 日ごろ心がけていることについて
 - ・身近な暮らしについて
 - ・生ごみの減量・資源化について
 - ・コミュニティについて
3. あなたご自身のことについて
 - ・健康について
 - ・子育てについて
4. 市政について
 - ・市政について
 - ・新エネルギーについて
 - ・食育について
 - ・敬老会（式）について
 - ・観光について
5. 生涯学習について

その他

調査項目によっては、複数回答（問32～34・37・39・42～49）があり、合計が100%にならない項目もあります。

調査結果概要

【問50】（１）あなたの性別は

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 男 性	389	44.8	245	44.2	0.6
2 女 性	470	54.1	299	54.0	0.1
3 無回答	10	1.1	10	1.8	-0.7
合 計	869	100.0	554	100.0	

【問50】（２）あなたの年齢は

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 1 0 代	19	2.2	13	2.4	-0.2
2 2 0 代	119	13.7	66	11.9	1.8
3 3 0 代	131	15.1	86	15.5	-0.4
4 4 0 代	143	16.5	90	16.3	0.2
5 5 0 代	162	18.6	98	17.7	0.9
6 6 0 代	176	20.3	122	22.0	-1.7
7 7 0 代以上	109	12.5	70	12.6	-0.1
8 無回答	10	1.1	9	1.6	-0.5
合 計	869	100.0	554	100.0	

【問50】（３）あなたの家族構成は

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 1人世帯	117	13.5	104	18.8	-5.3
2 夫婦のみの世帯	198	22.8	157	28.3	-5.5
3 夫婦と子供のみの世帯	219	25.2	117	21.1	4.1
4 3世代以上の世帯	147	16.9	72	13.0	3.9
5 その他の世帯	168	19.3	95	17.2	2.1
6 無回答	20	2.3	9	1.6	0.7
合 計	869	100.0	554	100.0	

【問50】（４）あなたの住んでいる地域は

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 本庁地区	391	45.0	263	47.5	-2.5
2 向能代地区	129	14.8	89	16.1	-1.3
3 南地区	103	11.9	57	10.3	1.6
4 扇淵地区	41	4.7	18	3.2	1.5
5 檜山地区	16	1.8	8	1.4	0.4
6 鶴形地区	5	0.6	7	1.3	-0.7
7 常盤地区	18	2.1	11	2.0	0.1
能代地区計	703	80.9	453	81.8	-0.9
8 天神地区	13	1.5	5	0.9	0.6
9 荷上場地区	11	1.3	8	1.4	-0.1
10 二ツ井地区	63	7.3	49	8.8	-1.5
11 種梅地区	9	1.0	8	1.4	-0.4
12 田代・濁川地区	2	0.2	2	0.4	-0.2
13 切石・茹又石地区	8	0.9	7	1.3	-0.4
14 仁鮎・小掛地区	11	1.3	8	1.4	-0.1
15 富根地区	21	2.4	7	1.3	1.1
二ツ井地域局管内計	138	15.9	94	16.9	-1.0
16 無回答	28	3.2	7	1.3	1.9
合 計	869	100.0	554	100.0	

【問50】（５）あなたの職業は

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 農林漁業	33	3.8	15	2.7	1.1
2 商工（自営）	61	7.0	38	6.9	0.1
3 会社員・団体職員	276	31.8	172	31.0	0.8
4 公務員	47	5.4	31	5.6	-0.2
5 パート・アルバイト・派遣社員・臨時職員	115	13.2	72	13.0	0.2
6 学生	22	2.5	16	2.9	-0.4
7 主婦・家事専業	122	14.1	78	14.1	0.0
8 無職・その他	178	20.5	126	22.7	-2.2
9 無回答	15	1.7	6	1.1	0.6
合 計	869	100.0	554	100.0	

日ごろどのように感じているか

【問１】飲料水確保・生活排水処理など衛生的な生活環境は維持されていると思う

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 思 う	316	36.4	215	38.8	-2.4
2 どちらかといえば思う	289	33.3	168	30.3	3.0
3 どちらともいえない	106	12.2	67	12.1	0.1
4 どちらかといえば思わない	54	6.2	31	5.6	0.6
5 思わない	54	6.2	43	7.8	-1.6
6 わからない	28	3.2	23	4.1	-0.9
7 無回答	22	2.5	7	1.3	1.2
合 計	869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値69%

「思う」「どちらかといえば思う」があわせて（以下「肯定的意見」という）69.7%（前年度69.1%、比較0.6ポイント増）、「思わない」「どちらかといえば思わない」があわせて（以下「否定的意見」という）12.4%（同13.4%、1.0ポイント減）、「どちらともいえない」が12.2%（同12.1%、0.1ポイント増）となった。

【問２】地元産の農産物は安全でおいしいと思う

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 思 う	427	49.1	284	51.3	-2.2
2 どちらかといえば思う	296	34.1	202	36.5	-2.4
3 どちらともいえない	92	10.6	43	7.8	2.8
4 どちらかといえば思わない	15	1.7	7	1.2	0.5
5 思わない	4	0.5	2	0.3	0.2
6 わからない	16	1.8	11	2.0	-0.2
7 無回答	19	2.2	5	0.9	1.3
合 計	869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値80%

「肯定的意見」が83.2%（前年度87.8%、4.6ポイント減）、「否定的意見」は2.2%（同1.5%、0.7ポイント増）、「どちらともいえない」は10.6%（同7.8%、2.8ポイント増）となった。

【問３】除排雪・清掃活動等、近所・自治会・町内会などで協力し合う体制が整っていると思う

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 思 う	109	12.5	89	16.1	-3.6
2 どちらかといえば思う	261	30.0	165	29.8	0.2
3 どちらともいえない	204	23.5	132	23.8	-0.3
4 どちらかといえば思わない	130	15.0	67	12.1	2.9
5 思わない	125	14.4	70	12.6	1.8
6 わからない	22	2.5	24	4.3	-1.8
7 無回答	18	2.1	7	1.3	0.8
合 計	869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値48%

「肯定的意見」が42.5%（前年度45.9%、3.4ポイント減）、「否定的意見」が29.4%（同24.7%、4.7ポイント増）、「どちらともいえない」は23.5%（同23.8%、0.3ポイント減）となった。

【問４】子どもが地区でのびのびと育っていると思う		H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
		回答数	割 合	回答数	割 合	
1	思 う	156	17.9	105	19.0	-1.1
2	どちらかといえば思う	302	34.7	220	39.7	-5.0
3	どちらともいえない	191	22.0	108	19.5	2.5
4	どちらかといえば思わない	72	8.3	35	6.3	2.0
5	思わない	45	5.2	20	3.6	1.6
6	わからない	78	9.0	55	9.9	-0.9
7	無回答	25	2.9	11	2.0	0.9
合 計		869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値50%

「肯定的意見」が52.6%（前年度58.7%、6.1ポイント減）、「否定的意見」が13.5%（同9.9%、3.6ポイント増）、「どちらともいえない」は22.0%（同19.5%、2.5ポイント増）となった。

【問５】米代川やきみまち阪、風の松原などの豊かな自然は他に誇れると思う		H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
		回答数	割 合	回答数	割 合	
1	思 う	278	32.0	221	39.9	-7.9
2	どちらかといえば思う	313	36.0	189	34.1	1.9
3	どちらともいえない	165	19.0	92	16.6	2.4
4	どちらかといえば思わない	44	5.0	23	4.2	0.8
5	思わない	40	4.6	17	3.1	1.5
6	わからない	12	1.4	8	1.4	0.0
7	無回答	17	2.0	4	0.7	1.3
合 計		869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値81%

「肯定的意見」が68.0%（前年度74.0%、6.0ポイント減）、「否定的意見」が9.6%（同7.3%、2.3ポイント増）、「どちらともいえない」が19.0%（同16.6%、2.4ポイント増）となった。

【問６】豊かな自然や特色ある郷土料理など、他に誇れる観光資源があると思う		H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
		回答数	割 合	回答数	割 合	
1	思 う	146	16.8	97	17.5	-0.7
2	どちらかといえば思う	225	25.9	151	27.3	-1.4
3	どちらともいえない	244	28.1	151	27.3	0.8
4	どちらかといえば思わない	110	12.7	79	14.2	-1.5
5	思わない	96	11.0	52	9.4	1.6
6	わからない	25	2.9	19	3.4	-0.5
7	無回答	23	2.6	5	0.9	1.7
合 計		869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値56%

「肯定的意見」が42.7%（前年度44.8%、2.1ポイント減）、「否定的意見」が23.7%（同23.6%、0.1ポイント増）、「どちらともいえない」は28.1%（同27.3%、0.8ポイント増）となった。

【問7】木のぬくもりや木のまちとしての雰囲気があると思う

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 思 う	94	10.8	67	12.1	-1.3
2 どちらかといえば思う	196	22.6	123	22.2	0.4
3 どちらともいえない	253	29.1	182	32.9	-3.8
4 どちらかといえば思わない	155	17.8	91	16.4	1.4
5 思わない	132	15.2	71	12.8	2.4
6 わからない	13	1.5	10	1.8	-0.3
7 無回答	26	3.0	10	1.8	1.2
合 計	869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値55%

「肯定的意見」が33.4%(前年度34.3%、0.9ポイント減)、「否定的意見」が33.0%(同29.2%、3.8ポイント増)、「どちらともいえない」は29.1%(同32.9%、3.8ポイント減)となった。

【問8】バスケを楽しめる環境があると思う

	H 2 4 年度回答	
	回答数	割 合
1 思 う	91	10.5
2 どちらかといえば思う	238	27.4
3 どちらともいえない	236	27.2
4 どちらかといえば思わない	115	13.2
5 思わない	116	13.3
6 わからない	47	5.4
7 無回答	26	3.0
合 計	869	100.0

《平成24年度新規調査》

「肯定的意見」が37.9%、「否定的意見」が26.5%、「どちらともいえない」が27.2%となった。

【問9】バスケの街を他に誇れると思う

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 思 う	132	15.2	122	22.0	-6.8
2 どちらかといえば思う	236	27.2	132	23.8	3.4
3 どちらともいえない	220	25.3	156	28.2	-2.9
4 どちらかといえば思わない	109	12.5	58	10.5	2.0
5 思わない	120	13.8	71	12.8	1.0
6 わからない	27	3.1	8	1.4	1.7
7 無回答	25	2.9	7	1.3	1.6
合 計	869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値75%

「肯定的意見」が42.4%(前年度45.8%、3.4ポイント減)、「否定的意見」が26.3%(同23.3%、3.0ポイント増)、「どちらともいえない」が25.3%(同28.2%、2.9ポイント減)となった。

【問10】 バスケットの街づくりに関わりたいと思う

		H 2 4 年度回答	
		回答数	割 合
1	思 う	52	6.0
2	どちらかといえば思う	126	14.5
3	どちらともいえない	290	33.4
4	どちらかといえば思わない	119	13.7
5	思わない	214	24.6
6	わからない	41	4.7
7	無回答	27	3.1
合 計		869	100.0

《平成24年度新規調査》

「肯定的意見」が20.5%、「否定的意見」が38.3%、「どちらともいえない」が33.4%となった。

【問11】 子育てについて地域で支え合う雰囲気があると思う

		H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
		回答数	割 合	回答数	割 合	
1	思 う	56	6.4	54	9.7	-3.3
2	どちらかといえば思う	190	21.9	121	21.8	0.1
3	どちらともいえない	291	33.5	196	35.4	-1.9
4	どちらかといえば思わない	116	13.3	64	11.6	1.7
5	思わない	84	9.7	43	7.8	1.9
6	わからない	105	12.1	69	12.5	-0.4
7	無回答	27	3.1	7	1.2	1.9
合 計		869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値30%

「肯定的意見」が28.3%(前年度31.5%、3.2ポイント減)、「否定的意見」が23.0%(同19.4%、3.6ポイント増)、「どちらともいえない」が33.5%(同35.4%、1.9ポイント減)となった。

【問12】 障がいを持つ人も社会参加できる環境が整っていると思う

		H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
		回答数	割 合	回答数	割 合	
1	思 う	20	2.3	22	4.0	-1.7
2	どちらかといえば思う	105	12.1	61	11.0	1.1
3	どちらともいえない	303	34.9	205	37.0	-2.1
4	どちらかといえば思わない	157	18.1	93	16.8	1.3
5	思わない	140	16.1	70	12.6	3.5
6	わからない	123	14.1	98	17.7	-3.6
7	無回答	21	2.4	5	0.9	1.5
合 計		869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値20%

「肯定的意見」が14.4%(前年度15.0%、0.6ポイント減)、「否定的意見」が34.2%(同29.4%、4.8ポイント増)、「どちらともいえない」が34.9%(同37.0%、2.1ポイント減)となった。

【問13】性別・国籍などに関わらず、一人ひとりの個性や能力を発揮できる地域になっていると思う

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 思 う	16	1.8	17	3.1	-1.3
2 どちらかといえば思う	68	7.8	54	9.7	-1.9
3 どちらともいえない	284	32.7	189	34.1	-1.4
4 どちらかといえば思わない	170	19.6	91	16.4	3.2
5 思わない	170	19.6	103	18.6	1.0
6 わからない	135	15.5	93	16.8	-1.3
7 無回答	26	3.0	7	1.3	1.7
合 計	869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値20%

「肯定的意見」が9.6%(前年度12.8%、3.2ポイント減)、「否定的意見」が39.2%(同35.0%、4.2ポイント増)、「どちらともいえない」が32.7%(同34.1%、1.4ポイント減)となった。

【問14】「男は仕事、女は家庭」といった性別による固定した考え方には反対と思う

	H 2 4 年度回答	
	回答数	割 合
1 思 う	385	44.3
2 どちらかといえば思う	202	23.2
3 どちらともいえない	154	17.7
4 どちらかといえば思わない	39	4.5
5 思わない	54	6.2
6 わからない	15	1.8
7 無回答	20	2.3
合 計	869	100.0

《平成24年度新規調査》

「肯定的意見」が67.5%、「否定的意見」が10.7%、「どちらともいえない」が17.7%となった。

【問15】市職員は日ごろ仕事をよくやっていると思う

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 思 う	113	13.0	83	15.0	-2.0
2 どちらかといえば思う	223	25.7	145	26.2	-0.5
3 どちらともいえない	218	25.1	129	23.3	1.8
4 どちらかといえば思わない	78	9.0	52	9.4	-0.4
5 思わない	83	9.5	48	8.7	0.8
6 わからない	124	14.3	84	15.1	-0.8
7 無回答	30	3.4	13	2.3	1.1
合 計	869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値50%

「肯定的意見」が38.7%(前年度41.2%、2.5ポイント減)、「否定的意見」が18.5%(同18.1%、0.4ポイント増)、「どちらともいえない」が25.1%(同23.3%、1.8ポイント増)となった。

【問16】市の財政状況などについて情報提供が行われていると思う

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 思 う	102	11.8	78	14.1	-2.3
2 どちらかといえば思う	252	29.0	153	27.6	1.4
3 どちらともいえない	217	25.0	140	25.3	-0.3
4 どちらかといえば思わない	88	10.1	54	9.7	0.4
5 思わない	92	10.6	54	9.7	0.9
6 わからない	96	11.0	70	12.7	-1.7
7 無回答	22	2.5	5	0.9	1.6
合 計	869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値50%

「肯定的意見」が40.8% (前年度41.7%、0.9ポイント減)、「否定的意見」が20.7% (同19.4%、1.3ポイント増)、「どちらともいえない」が25.0% (同25.3%、0.3ポイント減)となった。

日ごろ心がけて（行って）いるか

【問17】限りある資源を大切にするため、資源ごみを分別すること

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 心がけている	481	55.4	326	58.8	-3.4
2 どちらかといえば心がけている	279	32.1	161	29.1	3.0
3 どちらともいえない	48	5.5	32	5.8	-0.3
4 どちらかといえば心がけていない	12	1.4	13	2.3	-0.9
5 心がけていない	11	1.3	11	2.0	-0.7
6 わからない	2	0.2	4	0.7	-0.5
7 無回答	36	4.1	7	1.3	2.8
合 計	869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値92%

「心がけている」「どちらかといえば心がけている」をあわせて（以下、「肯定的意見」という）87.5% (前年度87.9%、0.4ポイント減)、「心がけていない」「どちらかといえば心がけていない」をあわせて（以下「否定的意見」という）2.7% (同4.3%、1.6ポイント減)、「どちらともいえない」が5.5% (同5.8%、0.3ポイント減)となった。

【問18】地域資源を活用した商品・製品（白神酵母使用食品、木材・木工製品等）を利用すること

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 心がけている	63	7.2	37	6.7	0.5
2 どちらかといえば心がけている	199	22.9	128	23.1	-0.2
3 どちらともいえない	308	35.5	196	35.4	0.1
4 どちらかといえば心がけていない	131	15.1	81	14.6	0.5
5 心がけていない	105	12.1	75	13.5	-1.4
6 わからない	21	2.4	29	5.2	-2.8
7 無回答	42	4.8	8	1.5	3.3
合 計	869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値45%

「肯定的意見」が30.1% (前年度29.8%、0.3ポイント増)、「否定的意見」が27.2% (同28.1%、0.9ポイント減)、「どちらともいえない」は35.5% (同35.4%、0.1ポイント増)となった。

【問19】 地元商店街や近所の商店を利用すること

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 心がけている	174	20.0	112	20.2	-0.2
2 どちらかといえば心がけている	227	26.1	160	28.9	-2.8
3 どちらともいえない	216	24.9	126	22.7	2.2
4 どちらかといえば心がけていない	101	11.6	76	13.7	-2.1
5 心がけていない	111	12.8	66	11.9	0.9
6 わからない	3	0.3	6	1.1	-0.8
7 無回答	37	4.3	8	1.5	2.8
合 計	869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値58%

「肯定的意見」が46.1%(前年度49.1%、3.0ポイント減)、「否定的意見」が24.4%(同25.6%、1.2ポイント減)、「どちらともいえない」は24.9%(同22.7%、2.2ポイント増)となった。

【問20】 災害などもしもの場合に普段から備えること

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 心がけている	110	12.7	77	13.9	-1.2
2 どちらかといえば心がけている	286	32.9	200	36.1	-3.2
3 どちらともいえない	229	26.3	137	24.7	1.6
4 どちらかといえば心がけていない	140	16.1	92	16.6	-0.5
5 心がけていない	59	6.8	38	6.9	-0.1
6 わからない	1	0.1	2	0.4	-0.3
7 無回答	44	5.1	8	1.4	3.7
合 計	869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値30%

「肯定的意見」が45.6%(前年度50.0%、4.4ポイント減)、「否定的意見」が22.9%(同23.5%、0.6ポイント減)、「どちらともいえない」が26.3%(同24.7%、1.6ポイント増)となった。

【問21】 自治会・町内会活動やボランティア活動など、市民活動へ参加すること

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 心がけている	120	13.8	77	13.9	-0.1
2 どちらかといえば心がけている	175	20.1	133	24.0	-3.9
3 どちらともいえない	236	27.2	134	24.2	3.0
4 どちらかといえば心がけていない	134	15.4	102	18.4	-3.0
5 心がけていない	155	17.8	84	15.2	2.6
6 わからない	11	1.3	13	2.3	-1.0
7 無回答	38	4.4	11	2.0	2.4
合 計	869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値50%

「肯定的意見」が33.9%(昨年度37.9%、4.0ポイント減)、「否定的意見」が33.2%(同33.6%、0.4ポイント減)、「どちらともいえない」は27.2%(同24.2%、3.0ポイント増)となった。

【問22】地区の祭りや七夕・民俗芸能へ参加すること

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 心がけている	89	10.2	60	10.8	-0.6
2 どちらかといえば心がけている	164	18.9	113	20.4	-1.5
3 どちらともいえない	263	30.3	139	25.1	5.2
4 どちらかといえば心がけていない	144	16.6	123	22.2	-5.6
5 心がけていない	161	18.5	96	17.3	1.2
6 わからない	9	1.0	12	2.2	-1.2
7 無回答	39	4.5	11	2.0	2.5
合 計	869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値42%

「肯定的意見」が29.1%（前年度31.2%、2.1^ポ イト減）、「否定的意見」が35.1%（同39.5%、4.4^ポ イト減）、「どちらともいえない」は30.3%（同25.1%、5.2^ポ イト増）となった。

【問23】学んだ知識や特技を地区活動や行事などで発揮すること

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 心がけている	40	4.6	34	6.1	-1.5
2 どちらかといえば心がけている	105	12.1	83	15.0	-2.9
3 どちらともいえない	294	33.8	167	30.2	3.6
4 どちらかといえば心がけていない	159	18.3	117	21.1	-2.8
5 心がけていない	204	23.5	117	21.1	2.4
6 わからない	25	2.9	24	4.3	-1.4
7 無回答	42	4.8	12	2.2	2.6
合 計	869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値25%

「肯定的意見」が16.7%（前年度21.1%、4.4^ポ イト減）、「否定的意見」が41.8%（同42.2%、0.4^ポ イト減）、「どちらともいえない」は33.8%（同30.2%、3.6^ポ イト増）であった。

【問24】家庭で、コンボ^ス容器等による堆肥化など、生ごみの資源化に取り組んでいるか

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 取り組んでいる	153	17.6	92	16.6	1.0
2 取り組んでいない	681	78.4	456	82.3	-3.9
3 無回答	35	4.0	6	1.1	2.9
合 計	869	100.0	554	100.0	

《環境基本計画》平成24年度目標値30%

「取り組んでいる」が17.6%（前年度16.6%、1.0^ポ イト増）、「取り組んでいない」が78.4%（前年度82.3%、3.9^ポ イト減）であった。

【問25】前問で「2」と答えた方、生ごみの資源化について講習会等を開催した場合に参加し、取り組んでみたいか

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 講習会等に参加して取り組んでみたい	161	23.6	105	23.0	0.6
2 講習会等に参加しなくても取り組んでみたい	227	33.3	151	33.1	0.2
3 取り組むつもりはない	236	34.7	158	34.7	0.0
4 その他	43	6.3	37	8.1	-1.8
5 無回答	14	2.1	5	1.1	1.0
合 計	681	100.0	456	100.0	

「講習会等へ参加して取り組んでみたい」が23.6%（前年度23.0%、0.6^ポ イト増）、「講習会等に参加しなくても取り組んでみたい」が33.3%（同33.1%、0.2^ポ イト増）、「取り組むつもりはない」が34.7%（同34.7%、増減なし）となった。

あなたご自身のことについて

・健康について

【問26】 自分自身のからだの健康状態

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 健康である	168	19.3	137	24.7	-5.4
2 どちらかといえば健康である	329	37.9	220	39.7	-1.8
3 どちらともいえない	176	20.2	94	17.0	3.2
4 どちらかといえば健康でない	101	11.6	53	9.6	2.0
5 健康でない	57	6.6	25	4.5	2.1
6 わからない	5	0.6	5	0.9	-0.3
7 無回答	33	3.8	20	3.6	0.2
合 計	869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値70%

「健康である」「どちらかといえば健康である」があわせて57.2%（前年度64.4%、7.2ポイント減）、
「健康でない」「どちらかといえば健康でない」があわせて18.2%（同14.1%、4.1ポイント増）、
「どちらともいえない」が20.2%（同17.0%、3.2ポイント増）となった。

【問27】 自分自身の心の健康状態

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 健康である	195	22.4	129	23.3	-0.9
2 どちらかといえば健康である	316	36.4	216	39.0	-2.6
3 どちらともいえない	170	19.6	113	20.4	-0.8
4 どちらかといえば健康でない	89	10.2	48	8.7	1.5
5 健康でない	48	5.5	18	3.2	2.3
6 わからない	10	1.2	7	1.3	-0.1
7 無回答	41	4.7	23	4.1	0.6
合 計	869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値65%

「健康である」「どちらかといえば健康である」があわせて58.8%（前年度62.3%、3.5ポイント減）、
「健康でない」「どちらかといえば健康でない」があわせて15.7%（同11.9%、3.8ポイント増）、
「どちらともいえない」が19.6%（同20.4%、0.8ポイント減）となった。

【問28-1】 （1）身近なかかりつけ医があるか

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 あ る	333	38.3	214	38.6	-0.3
2 どちらかといえばある	216	24.8	115	20.8	4.0
3 な い	303	34.9	210	37.9	-3.0
4 わからない	6	0.7	7	1.3	-0.6
5 無回答	11	1.3	8	1.4	-0.1
合 計	869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値75%

「ある」「どちらかといえばある」があわせて63.1%（前年度59.4%、3.7ポイント増）、「ない」が34.9%（同37.9%、3.0ポイント減）となった。

【問28-2】（２）身近なかかりつけ薬局があるか

		H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
		回答数	割 合	回答数	割 合	
1	あ る	294	33.8	171	30.9	2.9
2	どちらかといえばある	194	22.3	105	18.9	3.4
3	な い	358	41.2	257	46.4	-5.2
4	わからない	9	1.1	12	2.2	-1.1
5	無回答	14	1.6	9	1.6	0.0
合 計		869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値65%

「ある」「どちらかといえばある」があわせて56.1%（前年度49.8%、6.3ポイント増）、「ない」が41.2%（同46.4%、5.2ポイント減）となった。

【問29】薬局からもらう「お薬手帳」を活用しているか

		H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
		回答数	割 合	回答数	割 合	
1	一冊で全てを管理している	380	43.7	173	31.2	12.5
2	何冊も持っている	64	7.4	38	6.9	0.5
3	もらったが無くした	116	13.3	98	17.7	-4.4
4	もらったことはない	291	33.5	235	42.4	-8.9
5	無回答	18	2.1	10	1.8	0.3
合 計		869	100.0	554	100.0	

「一冊で全てを管理している」が43.7%（前年度31.2%、12.5ポイント増）、「何冊も持っている」が7.4%（前年度6.9%、0.5ポイント増）、「もらったが無くした」は13.3%（前年度17.7%、4.4ポイント減）、「もらったことはない」は33.5%（前年度42.4%、8.9ポイント減）となった。

【問30】どれくらいの頻度で運動・スポーツをしているか

		H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
		回答数	割 合	回答数	割 合	
1	ほとんど毎日	145	16.7	80	14.4	2.3
2	週3回くらい	106	12.2	73	13.2	-1.0
3	週2回くらい	71	8.2	60	10.8	-2.6
4	週1回くらい	93	10.7	62	11.2	-0.5
5	月1～3回くらい	108	12.4	60	10.8	1.6
6	年3～4回くらい	49	5.6	20	3.6	2.0
7	年1～2回くらい	33	3.8	22	4.0	-0.2
8	まったくしない	246	28.3	171	30.9	-2.6
9	無回答	18	2.1	6	1.1	1.0
合 計		869	100.0	554	100.0	

《総合計画》平成24年度目標値50%

「ほとんど毎日」から「週1回」まであわせて47.8%（前年度49.6%、1.8ポイント減）、「月1～3回」が12.4%（同10.8%、1.6ポイント増）、「年1～4回」まであわせて9.4%（同7.6%、1.8ポイント増）となった。

子育てについて

【問31】 子育てをどう感じているか（小学生以下のお子さんのいる方のみ対象）

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 楽しいと感じることの方が多い	108	55.1	75	57.7	-2.6
2 楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい	63	32.1	36	27.7	4.4
3 つらいと感じる方が多い	3	1.5	1	0.8	0.7
4 わからない	16	8.2	15	11.5	-3.3
5 その他	6	3.1	1	0.8	2.3
6 無回答	0	0.0	2	1.5	-1.5
合 計	196	100.0	130	100.0	

《次世代育成支援行動計画（後期計画）》平成26年度目標値65%

「楽しいと感じることの方が多い」が55.1%（前年度57.7%、2.6ポイント減）、「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」が32.1%（同27.7%、4.4ポイント増）となった。

市政について

【問32】 市政について特に知りたいと思っていること
（3つまで）

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 市長の考え方	185	21.3	130	23.5	-2.2
2 市の予算の使い方	273	31.4	163	29.4	2.0
3 市が取り組んでいる仕事の内容や進みぐあい	330	38.0	217	39.2	-1.2
4 市が計画している仕事やその内容	339	39.0	210	37.9	1.1
5 新しくできた制度やその事務手続	262	30.1	157	28.3	1.8
6 市が抱えている大きな問題や困っていること	299	34.4	188	33.9	0.5
7 市の施設やその利用方法	182	20.9	125	22.6	-1.7
8 市の行事や催し物	171	19.7	89	16.1	3.6
9 市のいろいろな統計資料	23	2.6	6	1.1	1.5
10 市の歴史や文化・芸能など	49	5.6	27	4.9	0.7
11 市議会で審議されている内容	159	18.3	99	17.9	0.4
12 わからない	0	0.0	41	7.4	-7.4
13 その他	13	1.5	10	1.8	-0.3
14 無回答	62	7.1	11	2.0	5.1
合 計	2,347	269.9	1,473	266.0	

1 位は「4. 市が計画している仕事やその内容」（前年度 2 位）で39.0%、
（前年度37.9%、1.1ポイント増）、
2 位は「3. 市が取り組んでいる仕事の内容や進みぐあい」（前年度 1 位）で38.0%、
（前年度39.2%、1.2ポイント減）、
3 位は「6. 市が抱えている大きな問題や困っていること」（前年度 3 位）で34.4%、
（前年度33.9%、0.5ポイント増）となった。

【問33】 市政に対する意見や要望の伝え方

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 自分で直接市役所を訪れて話すか電話で伝える	153	17.6	75	13.5	4.1
2 陳情や請願をする	9	1.0	6	1.1	-0.1
3 市議会議員を通じて伝える	37	4.3	30	5.4	-1.1
4 自治会長や町内会長を通じて伝える	175	20.1	101	18.2	1.9
5 「市長への手紙」やEメール、ファクスで伝える	70	8.1	33	6.0	2.1
6 新聞等への投稿を行う	22	2.5	16	2.9	-0.4
7 知り合いの市の職員を通じて伝える	43	4.9	33	6.0	-1.1
8 伝えない	293	33.7	129	23.3	10.4
9 わからない	0	0.0	119	21.5	-21.5
10 その他	16	1.8	8	1.4	0.4
11 無回答	66	7.6	4	0.7	6.9
合 計	884	101.6	554	100.0	

1 位は「8. 伝えない」（前年度 1 位）で33.7%（前年度23.3%、10.4^ポ イト増）、
2 位は「4. 自治会長や町内会長を通じて伝える」（前年度 3 位）で20.1%（前年度18.2%、1.9^ポ イト増）、
3 位は「1. 自分で直接市役所を訪れて話すか電話で伝える」（前年度 4 位）で17.6%（前年度13.5%、4.1^ポ イト増）となった。

【問34】 どのような市職員を求めるか（3 つまで）

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 サービス業という意識を持つ職員	199	22.9	120	21.7	1.2
2 社会の変化を敏感に察知し、対応できる職員	122	14.0	90	16.2	-2.2
3 笑顔で親切丁寧な対応のできる職員	345	39.7	209	37.7	2.0
4 わかりやすく説明のできる職員	303	34.9	190	34.3	0.6
5 迅速で効率的な仕事のできる職員	191	22.0	111	20.0	2.0
6 市民の立場に立って物事を考える職員	281	32.3	207	37.4	-5.1
7 自分の発言や行動に責任を持つ職員	141	16.2	90	16.2	0.0
8 誰にでも公平に接する職員	211	24.3	155	28.0	-3.7
9 現状を正しく理解し、正確に判断できる職員	162	18.6	107	19.3	-0.7
10 柔軟な対応のできる職員	199	22.9	152	27.4	-4.5
11 専門知識・技能を持ち、市民に還元する職員	168	19.3	92	16.6	2.7
12 仕事を立案・実施・点検・改善できる職員	65	7.5	45	8.1	-0.6
13 わからない	0	0.0	15	2.7	-2.7
14 その他	20	2.3	8	1.4	0.9
15 無回答	48	5.5	6	1.1	4.4
合 計	2,455	282.4	1,597	288.1	

1 位は「3. 笑顔で親切丁寧な対応のできる職員」（前年度 1 位）で39.7%（前年度37.7%、2.0^ポ イト増）、
2 位は「4. わかりやすく説明のできる職員」（前年度 3 位）で34.9%（前年度34.3%、0.6^ポ イト増）、
3 位は「6. 市民の立場に立って物事を考える職員」（前年度 2 位）で32.3%（前年度37.4%、5.1^ポ イト減）、
4 位は「8. 誰にでも公平に接する職員」（前年度 4 位）で24.3%（前年度28.0%、3.7^ポ イト減）、
5 位は「1. サービス業という意識を持つ職員」（前年度 6 位）で22.9%（前年度21.7%、1.2^ポ イト増）と「10. 柔軟な対応のできる職員」（前年度 5 位）で22.9%（前年度27.4%、4.5^ポ イト減）となった。

（食育について）

【問35】「食育」という言葉を知っているか

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 言葉も意味も知っている	465	53.5	297	53.6	-0.1
2 言葉は知っているが、意味はわからない	242	27.8	182	32.9	-5.1
3 言葉も意味も知らない	111	12.8	70	12.6	0.2
4 無回答	51	5.9	5	0.9	5.0
合 計	869	100.0	554	100.0	

《食育推進計画》平成27年度目標値80%

「言葉も意味も知っている」が53.5%（前年度53.6%、0.1ポイント減）、「言葉は知っているが、意味はわからない」が27.8%（同32.9%、5.1ポイント減）、「言葉も意味も知らない」が12.8%（同12.6%、0.2ポイント増）となった。

【問36】「食育」に関心があるか

	H 2 4 年度回答		H 2 3 年度回答		増 減
	回答数	割 合	回答数	割 合	
1 関心がある	220	25.3	154	27.8	-2.5
2 どちらかといえば関心がある	362	41.7	252	45.5	-3.8
3 どちらかといえば関心はない	134	15.4	90	16.2	-0.8
4 関心はない	81	9.3	50	9.0	0.3
5 無回答	72	8.3	8	1.5	6.8
合 計	869	100.0	554	100.0	

《食育推進計画》平成27年度目標値80%

「関心がある」「どちらかといえば関心がある」をあわせて67.0%（前年度73.3%、6.3ポイント減）、「どちらかといえば関心はない」「関心はない」をあわせて24.7%（同25.2%、0.5ポイント減）となった。

《以下全て、平成24年度新規調査》

（観光について）

【問37】あなたが最も誇れる能代の場所はどこですか

	H 2 4 年度回答		順位
	回答数	割 合	
1 風の松原	336	38.7	1
2 能代公園	24	2.8	8
3 きみまち阪県立自然公園	116	13.3	2
4 七座山	8	0.9	11
5 金勇	44	5.1	6
6 能代エナジウムパーク	101	11.6	3
7 はまなす画廊	29	3.3	7
8 檜山城跡	15	1.7	9
9 能代ロケット実験場	64	7.4	4
10 小友沼	12	1.4	10
11 白神郷土の森	46	5.3	5
12 その他	49	5.6	
13 無回答	50	5.8	
合 計	894	102.9	

1位は「1. 風の松原」で38.7%、
2位は「3. きみまち阪県立自然公園」で13.3%、
3位は「6. 能代エナジウムパーク」で11.6%、
4位は「9. 能代ロケット実験場」で7.4%、
5位は「11. 白神郷土の森」で5.3%となった。

（新エネルギー（再生可能エネルギー）について）

【問38】「新エネルギー（再生可能エネルギー）」という言葉を知っていますか

		H 2 4 年度回答	
		回答数	割 合
1	よく知っている	136	15.6
2	だいたい知っている	320	36.8
3	聞いたことはある	284	32.7
4	知らない。初めて聞いた	112	12.9
5	無回答	17	2.0
合 計		869	100.0

「よく知っている」「だいたい知っている」があわせて52.4%、「聞いたことはある」が32.7%、「知らない。初めて聞いた」が12.9%となった。

【問39】「新エネルギー（再生可能エネルギー）」が普及することによって、どのような効果を期待しますか（いくつでも）

		H 2 4 年度回答		順位
		回答数	割 合	
1	化石燃料の消費削減	310	35.7	2
2	地域環境保全	307	35.3	3
3	地域振興	146	16.8	8
4	地球温暖化防止	427	49.1	1
5	エネルギー問題への認知度の向上	179	20.6	5
6	エネルギー危機防止	301	34.6	4
7	災害対策	158	18.2	6
8	日本の科学技術の発展	110	12.7	9
9	生活の利便性の向上	153	17.6	7
10	その他	26	3.0	
合 計		2,117	243.6	

1位は「4. 地球温暖化防止」で49.1%、2位は「1. 化石燃料の消費削減」で35.7%、3位は「2. 地域環境保全」で35.3%、4位は「6. エネルギー危機防止」で34.6%、5位は「5. エネルギー問題への認知度の向上」で20.6%となった。

（敬老会（式）について）

【問40】敬老会（式）の対象となる初養老の年齢を、能代地域では数えの70歳、二ツ井地域では75歳としていますが、今後の初養老の対象年齢についてどのように考えますか

		H 2 4 年度回答		順位
		回答数	割 合	
1	数え70歳で統一すべき	303	34.9	1
2	数え75歳で統一すべき	231	26.6	2
3	数え80歳で統一すべき	57	6.5	4
4	現状のままでよい	211	24.3	3
5	その他	39	4.5	
6	無回答	28	3.2	
合 計		869	100.0	

1位は「1. 数え70歳で統一すべき」で34.9%、2位は「2. 数え75歳で統一すべき」で26.6%、3位は「4. 現状のままでよい」で24.3%となった。

生涯学習について

【問41】 公民館（中央・地区すべて）を利用したことがありますか

		H 2 4 年度回答		順位
		回答数	割 合	
1	ほぼ毎月	29	3.3	5
2	年に数回	126	14.5	3
3	この1年に1回以上	50	5.7	4
4	この1年は未利用	230	26.5	2
5	利用したことがない	422	48.6	1
6	無回答	12	1.4	
合 計		869	100	

1位は「5. 利用したことがない」で48.6%、
2位は「4. この1年は未利用」で26.5%、
3位は「2. 年に数回」で14.5%、

【問42】 前問で4または5と回答した人におたずねします。公民館を利用しなかった主な理由は何ですか

		H 2 4 年度回答		順位
		回答数	割 合	
1	多忙なため	110	16.9	2
2	病気のため	16	2.5	6
3	参加したい講座や教室がなかった	87	13.3	3
4	講座や教室の情報が得られなかった	40	6.1	4
5	公民館まで徒歩は困難であり交通手段がなかった	11	1.7	7
6	公民館の存在を知らなかった	19	2.9	5
7	特に理由はない	311	47.7	1
8	その他	25	3.8	
9	無回答	38	5.8	
合 計		657	100.7	

1位は「7. 特に理由はない」で47.7%、
2位は「1. 多忙なため」で16.9%、
3位は「3. 参加したい講座や教室がなかった」で13.3%、

【問43】 公民館活動において、どんなことに力を入れるべきだと思いますか

		H 2 4 年度回答		順位
		回答数	割 合	
1	自主学習グループの舞台や演奏、作品の鑑賞機会の提供	115	13.2	3
2	生涯学習に関する情報の提供	115	13.2	3
3	公民館設備の充実	86	9.9	5
4	市民や自主学習グループの活動に対する支援	125	14.4	2
5	市民の文化活動や学習活動に対する関心や興味を高める事業の充実	305	35.1	1
6	その他	31	3.6	
7	無回答	96	11.0	
合 計		873	100.4	

1位は「5. 関心や興味を高める事業の充実」で35.1%、
2位は「4. 市民や自主学習グループの活動支援」で14.4%、
3位は「1. 自主学習グループの舞台や演奏」と「2. 生涯学習の情報提供」で13.2%、であった。

【問44】市では、芸術文化の施策において、どんなことに力を入れるべきだと思いますか

H 2 4 年度回答			
	回答数	割 合	順位
1 一流の芸術家の舞台や演奏、作品の鑑賞機会の提供	209	24.1	1
2 芸術文化に関する情報の提供	75	8.6	5
3 能代市文化会館の設備の充実	61	7.0	6
4 市民や芸術文化団体の活動に対する支援や援助	95	10.9	3
5 市民の芸術文化活動や発表の場の充実	84	9.7	4
6 児童生徒の芸術文化に対する関心や興味を高める事業の充実	208	23.9	2
7 新しい文化の創造・発信	48	5.5	7
8 その他	22	2.5	
9 無回答	77	8.9	
合 計	879	101.1	

1 位は「1. 一流の芸術家の舞台や演奏、作品の鑑賞機会の提供」で24.1%、
2 位は「6. 児童生徒の芸術文化に対する関心や興味を高める事業の充実」で23.9%、
3 位は「4. 市民や芸術文化団体の活動に対する支援や援助」で10.9%、であった。

【問45】図書館サービスで充実して欲しいサービスは何ですか（2つまで）

H 2 4 年度回答			
	回答数	割 合	順位
1 図書館資料の充実	366	42.1	1
2 調べ物や資料相談（レファレンス）の充実	198	22.8	2
3 講座・催し物の充実	163	18.8	4
4 図書館ホームページの充実	77	8.9	7
5 児童サービスの充実	138	15.9	5
6 休館日の縮小	86	9.9	6
7 開館時間の延長	166	19.1	3
8 職員の対応	42	4.8	8
9 その他	54	6.2	
10 無回答	99	11.4	
合 計	1,389	159.9	

1 位は「1. 図書館資料」で42.1%、
2 位は「2. 調べ物や資料相談（レファレンス）」で22.8%、
3 位は「7. 開館時間の延長」で19.1%、であった。

【問46】運動、スポーツをする目的は何ですか（2つまで）

H 2 4 年度回答			
	回答数	割 合	順位
1 健康維持のため	639	73.5	1
2 体力を高めるため	241	27.7	3
3 精神の修行や訓練のため	33	3.8	5
4 仲間を作るため	90	10.4	4
5 楽しみやストレス解消のため	507	58.3	2
6 選手としての訓練や選手になるため	6	0.7	6
7 資格を取るため	1	0.1	7
8 その他	19	2.2	
9 無回答	51	5.9	
合 計	1,587	182.6	

1 位は「1. 健康維持のため」で73.5%、
2 位は「5. 楽しみやストレス解消のため」で58.3%、
3 位は「2. 体力を高めるため」で27.7%、であった。

【問47】全国的に家庭の教育力の低下が問題となっておりますが、主な原因は何だと思えますか（2つまで）

H 2 4 年度回答			
	回答数	割 合	順位
1 子どもに対して、過保護、甘やかせすぎや過干渉な親の増加	396	45.6	2
2 テレビ、映画、雑誌などが子どもに及ぼしている悪い影響	164	18.9	3
3 子どもに対するしつけや教育の仕方がわからないまたは無関心な親の増加	414	47.6	1
4 学校や塾など教育機関に対するしつけや教育の依存	146	16.8	4
5 父親の存在感の低下	30	3.5	10
6 子どもを親以外の大人（祖父母、地域の人）とふれあわせる機会の不足	134	15.4	5
7 親子のふれあい、一緒に行動する機会の不足	115	13.2	6
8 子どもの体験活動の機会の不足	64	7.4	8
9 家族一人ひとりの個人主義化	82	9.4	7
10 親に対する子どもの信頼感の低下	44	5.1	9
11 その他	33	3.8	
12 無回答	28	3.2	
合 計	1,650	189.9	

1位は「3. 子どもに対するしつけや教育の仕方がわからないまたは無関心な親の増加」で47.6%、
2位は「1. 子どもに対して、過保護、甘やかせすぎや過干渉な親の増加」で45.6%、
3位は「2. テレビ、映画、雑誌などが子どもに及ぼしている悪い影響」で18.9%、であった。

【問48】市では、青少年教育において、どんなことに取り組むべきだと思いますか（2つまで）

H 2 4 年度回答			
	回答数	割 合	順位
1 明るく円満な家庭を心がけ、子どもに関心を持つこと	319	36.7	1
2 家庭でのしつけや教育の充実	279	32.1	3
3 地域で親と子に対しての手本となる行動を行う	101	11.6	6
4 声掛け運動やあいさつ運動の推進	283	32.6	2
5 地域内の奉仕活動や行事への参加の呼びかけ	184	21.2	5
6 成人向けの雑誌、DVDなど地域内の環境浄化	36	4.1	9
7 インターネット・携帯電話のフィルタリング普及や使用についての啓発	89	10.2	7
8 青少年関係団体（子ども会、少年保護育成委員会等）の育成・援助	76	8.7	8
9 不登校・ニート・ひきこもりからの立ち直りの支援	192	22.1	4
10 その他	21	2.4	
11 無回答	34	3.9	
合 計	1,614	185.6	

1位は「1. 明るく円満な家庭を心がけ、子どもに関心を持つこと」で36.7%、
2位は「4. 声掛け運動やあいさつ運動の推進」で32.5%、
3位は「2. 家庭でのしつけや教育の充実」で32.1%、であった。

【問49】子ども（小・中学生）を育てる上で地域が果たすべき役割は何だと思えますか（2つまで）

H 2 4 年度回答			
	回答数	割 合	順位
1 社会のルールを守ることを教える	453	52.1	1
2 自然環境を大切にすることの気持ちを育てる	119	13.7	4
3 人を思いやる気持ちを育てる	434	49.9	2
4 ものを大切にする気持ちを育てる	110	12.7	6
5 歴史や文化を重んじる気持ちを育てる	47	5.4	8
6 正しい言葉使い、礼儀、しつけを教える	284	32.7	3
7 異文化を尊重する気持ちを育てる	10	1.2	9
8 我慢する気持ちを育てる	114	13.1	5
9 生活習慣を身に付けさせる	73	8.4	7
10 その他	12	1.4	
11 無回答	30	3.5	
合 計	1,686	194.1	

1位は「1. 社会のルールを守ることを教える」で52.1%、
2位は「3. 人を思いやる気持ちを育てる」で49.9%、
3位は「6. 正しい言葉使い、礼儀、しつけを教える」で32.7%、であった。